

1. 5月全国行事

1) ごみ減量化リサイクル推進運動

5月30日～6月5日

2) 禁煙週間

5月31日～6月6日

2. 他社の事故・災害事例から : 高さ1.3メートルから転落して死亡

3. 今月のヒヤリハット

1. 5月全国行事

1) ごみ減量化リサイクル運動

5月30日～6月5日

毎年5月30日を「ごみゼロの日」とし、その日から一週間は、廃棄物の減量化や再生利用を促進するための啓発活動を行う週間、ごみ減量・リサイクル推進週間として、全国各地で各種啓発事業が行われます。

ごみを減らすために欠かせないリサイクル、その技術は年々進歩していています。牛乳やジュースなどの紙パックは30枚の回収で5個のトイレトーパーに生まれ変わり、ひとつの家庭が新聞紙を9ヶ月分古紙回収に出せば高さ20mクラスの木を一本切らずに済みます。ビール瓶は寿命が8年と言われており、20回以上の再利用が可能です。



2) 禁煙週間

5月31日～6月6日

喫煙が健康に与える影響は大きい上、受動喫煙の危険性やニコチンの依存性を踏まえると喫煙習慣は個人の嗜好に留まらない健康問題であり、生活習慣病を予防する上で重要な課題になっています。

尚、5月31日は世界禁煙デーです。WHOによると、世界中でタバコの煙害で毎年600万人近くが死亡しており、そのうちの60万人は受動喫煙による非喫煙者とされています。このまま何も対策をとらなければ2030年までに毎年800万人がタバコの煙害で死亡するとされています。2014年のテーマは

「タバコ税を引き上げる」

とし、各国にタバコの値上げを求めるとしています。

2. 他社の事故・災害事例から : 高さ1.3メートルから転落して死亡

<災害のあらまし>

被災者(男性62歳、勤続40年)は、修理が終わったダクト(重量約7kg)を乾燥機に取り付けるため、脚立を登っていたところ、約1.3mの高さの位置の踏み板を踏み外して後ろ向きに転落し、脳挫傷により死亡したものです。

<災害の主な原因>

- ①被災者は定年後もこの職場で勤務している嘱託作業員で、作業の状況はよく分かっていたため、一人で作業を行っていたこと。
- ②ダクトや工具を抱えて脚立を登っていて足を踏み外し、とっさに手で体を支えられずに頭から転落したものと推察されること。
- ③高所作業ではかぶることになっていた保護帽をかぶっていなかったこと(この職場では通常布製の帽子

を着用)、など。

<同種災害の防止対策 例>

- ①物を手に持って脚立等の昇降をしない。昇降の際は両手が使えるように部品や工具等は体に固定する、またはひも等で吊り上げる。
- ②墜落、転落のおそれがある作業ではヘルメットをきちんと着用する。
- ③転落等の危険が予測される作業では事前に関係者と安全対策等の打ち合わせを行う。
- ④高齢者の作業については、心身機能の加齢による低下を周囲の者や本人も自覚し、適切な安全対策を実施する・・・など。

3. 今月のヒヤリハット:各事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

「泣いて 後で悔やむより ルール守って 安全作業」

| | |
|-------|--|
| 事例 | 棚の上部にあった道具の中身を確認しようとしたところよろけてしまった。 |
| どこで | 事務室で。 |
| あらまし | 営業所の棚の高いところにあった立会い道具の中身を確認しようとしたところ、思いのほか重量があったのでよろけてしまった。 |
| 原因 | 棚の上部に、重量物を保管したこと。 |
| 教訓・対策 | 棚の上部等、高所には重量物は置かない。 |

4. その他

省エネ、産廃削減活動などを引き続きお願いします。

「出来ることから即実践、習慣付けよう省エネ職場」 H26年環境保全最優秀作品